

なまいる互版

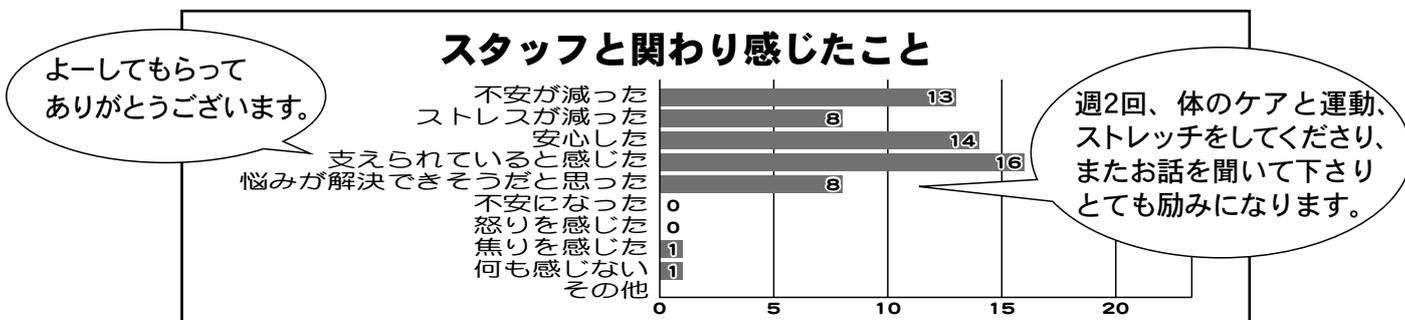
<連絡先>

【日野病院組合*在宅介護支援事業所】

☆ 訪問看護ステーション ☆ 居宅介護支援事業所

平成27年度訪問リハビリ満足度調査結果☆ご報告

平成28年2～3月に訪問リハビリ利用者様の満足度とサービスの質の向上を目的にアンケート調査を行いました。アンケートの結果から、9割の利用者様から訪問リハビリを受けて身体の動きや痛みが良くなったとの回答をいただきました



【ご意見】言語聴覚の訪問リハビリを希望します。

【回答】ご意見ありがとうございます。現在人員不足のため訪問での対応は難しく、ご要望に添えない点につきましては深くお詫び申し上げます。現状では、訪問リハビリに配属の3名の理学療法士と病院配属の言語聴覚士と連携を図りながらご希望に添えるよう対応させていただきます。また、希望されるリハビリ内容として、マッサージや痛みの緩和、筋力や体力をつける運動、歩行訓練とのご意見をいただきましたので、参考にさせていただき、リハビリサービスの質の向上に努めていきます。

～ 研修のご報告 ～

◇ 28年度鳥取県認知症介護実践者研修 ◇ 訪問看護師 安達節子

〔期日：7/19～23・於：倉吉市・地域交流センターアゼリアホール〕

上記の研修を通して、認知症の原因疾患や容態に応じたご本人やそのご家族の生活の質の向上を図る対応や技術を学んできました。座学だけでなく、実際の事例を用いたグループワークもあり、認知症に対する認識を深め、実際に自分たちの看護にいかにか反映させるか考える機会をいただきました。また、認知症により生じる生活のしにくさからご本人とご家族は、ことばでは言い表せない不安感や負担感を抱えておられることも改めて理解することができました。この研修での経験を活かして認知症の方やご家族に寄り添い、在宅でその人らしい生活を送れるための支援に役立てていきたいと思っております。

ケアマネ奮闘記 ～その1～ぼけてもええじえ・・・

介護保険の認定を受けられても、介護保険のサービスがうまく利用できるようになるまで多くの方の協力と様々な働きかけが必要です。

現在、当居宅で各サービス事業所や地域の皆さんにお願いしている介護保険ではない「特注のサービス」について当該事業所の関わりをなかからご紹介いたします。

介護保険サービス利用開始当初はご自身の病气(認知症)も含め、サービスの利用を受け入れることの難しかったAさん。今ではたくさんの支援に支えられながら「ぼけてもええじえ」とのことばを笑顔で話されることもあり、住み慣れたご自宅で、感謝の気持ちいっぱいにお一人での暮らしを続けておられます。

一人一人のオーダーメイドのサービスが実現できるよう、今後ともご協力よろしくお願ひいたします！！

